

- 教育基本法
- 学校教育法
- 学習指導要領
- 東京都教育委員会の教育目標・基本方針
- 小平市教育振興基本計画

小平市立小平第十三小学校 学校教育目標

- ◎ **自ら考え行動する子ども**
- **明るく元気な子ども**
- **仲良く助け合う子ども**

- 学校、児童・地域の実態
- 期待される児童像
- 保護者の期待や願い
- 地域の期待や願い

【 目指す学校像 】

学ぶ喜びを体感し、励まし合い助け合って一人一人が輝く学校

各教科の指導の重点

- **国語**
国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに国語に対する関心を深め、国語を尊重する態度を育てる。
- **社会**
社会生活について理解を図り、日本の国土と歴史に対する理解と愛情を育て、公民的資質の基礎を養う。
- **算数**
既習事項を活かして、自ら課題解決に取り組む児童を育成し、基礎・基本の定着を図る。
- **理科**
自然に親しみ、見通しをもって観察、実験などを行い、問題解決力と自然を愛する心を育てるとともに、科学的な見方や考え方を養う。
- **生活**
具体的な活動や体験を通して、自分と身近な人々、社会や自然とのかかわりに関心をもち自立への基礎を養う。
- **音楽**
表現や鑑賞の活動を通して、音楽を愛好する心を育てるとともに、音楽活動の基礎的な能力を培い、豊かな情操を養う。
- **図画工作**
表現及び鑑賞の活動を通して、感性を働かせながら、つくりだす喜びを味わうようにするとともに、造形的な創造活動の基礎的な能力を培い、豊かな情操を養う。
- **家庭**
衣食住などに関する実践的体験的活動を通して、家庭生活を大切にする心情を育み、家族の一員としての実践的な態度を養う。
- **体育**
心と体を一体としてとらえ、適切な運動の経験と健康・安全についての理解を通して、運動に親しむ力を育てるとともに、健康の保持増進と体力の向上を図る。

学力向上に向けた具体的な手だて

- 1 指導計画に沿った意図的・計画的な授業の実施と時数の管理
 - 問題解決型学習の意図的・計画的な実施
 - 児童の発達段階や実態に合わせた課題設定
 - 授業にかかわる児童の意識調査（年2回）を実施し、結果をもとにした授業改善
- 2 児童に「見方・考え方」を働かせるための工夫
 - 主題や主発問の工夫
 - 扱う資料の精選、資料提示の工夫
 - 学習環境の工夫（グルーピング等）
- 3 考える楽しさを味わわせ、思考力を高める授業
 - 具体的な教材や掲示物の工夫
 - 研究授業 ← 児童が主体的に学ぶ授業
 - 東京ベーシック・ドリルを活用し、習熟度別によるきめ細かい算数指導

学習基盤

- 1 学習習慣
 - 学習道具の準備
 - チャイム着席
 - 授業の始めと終わりのあいさつ
 - 家庭学習
- 2 学習規律
 - 話し方「はい・立つ・です」
 - 聞き方「背・目・手」
 - ホワイトボードによる、学習の流れの理解
- 3 朝学習
 - 「漢字練習」「計算練習(金曜日東京ベーシックドリル等)」「読書」の10分間の集中トレーニング
- 4 授業の流れ（十三小スタンダード）
 - 課題
 - めあて
 - 自己学習
 - ペア、グループ交流、ノートを見合う活動
 - 全体交流
 - まとめ
- 5 学習の補充
 - 放課後の時間を活用した補習教室の実施

- 特別の教科 道徳の指導の重点**
- ・道徳の実践力の育成
 - ・道徳的価値の自覚

- 外国語活動の指導の重点**
- ・コミュニケーション能力の育成

- 総合的な学習の時間の指導の重点**
- ・学び方やものの考え方を身に付けさせる。
 - ・自己の生き方を考えさせる。

- 特別活動の指導の重点**
- ・委員会活動の充実
 - ・教科・領域等の関連
 - ・たてわり班による活動

- 生活指導の重点**
- ・「十三小のやくそく」の徹底
 - ・全教職員の児童理解の充実
 - ・避難訓練、安全指導等の実施
 - ・基本的生活習慣の徹底

- 特別支援教育の重点**
- ・スクールカウンセラー及び特別支援教室専門員の活用
 - ・保護者や関係機関等との連携相談

- 進路指導の重点**
- ・体験学習を通じた勤労と生き方への指導
 - ・将来にわたって夢や希望を抱く指導

【授業改善に向けた校内体制】			
計画・実施・改善	教育課程の重点化・スリム化	学習基盤の充実	プランの評価方法
1 学級担任に、学習補助員を加えた、複数のスタッフによる指導システム（1～3年生） 2 適正な教育課程の実施 ⇒年間指導計画の作成・改善、週案簿作成 3 授業改善推進プランの実施・改善 ⇒研究授業、研究協議会 4 学力向上（習熟度）委員会の設置 ⇒教務主任・算数担当・実施学年主任で構成し、習熟度別算数指導の方法について協議する。	1 授業時数の確保 ⇒学校行事の見直し・精選 2 学年会の確保 ⇒会議の精選・効率化 3 放課後や夏休みの個別指導の確保 ⇒週時程の工夫・補習教室等の確実な実施 4 学習支援ボランティアの活用 ⇒ボランティアの運営組織	1 基本的生活習慣・家庭学習の定着 ⇒「早起き早寝朝ごはん」の生活リズム 2 保護者への啓発 ⇒学校・学年・保健等の各お便りの発行 ⇒ホームページによる情報発信 3 東京ベーシックドリル診断シートの活用	前年度の全国学力調査及び、東京都「児童・生徒の学力向上を図るための調査」の結果や学期ごとに行う東京ベーシックドリルの診断テストの結果から、課題が改善されたかを分析し、全体計画及び各学年のプランの修正を行う。